

## 広い視野と柔軟な思考

慶應義塾大学工学部には大学初年次に将来の専門性について熟考することのできる「学門制」入学をはじめ、興味やレベルに応じて学生自身が自律的に選択することのできる「総合教育科目」など、独自の教育プログラムが多数用意されています。多様な個性を持つ学生同士が互いに刺激し合い、視野を広げ、高い思考力を養っています。

幅広い学びの中から極めたい分野を見つけ、仲間と刺激し合いながら研究内容を深めていく。

### 一緒にいて“温かみ”を感じるロボットを開発していきたい

私は理系教科が好きだったものの、高校生のときには将来の目標一つに絞っていませんでした。そうした中で、自分の可能性を大学へ入学する時点で絞ってしまうのは非常にもったいないと感じ、幅広い分野を学んだ上で自分の進む道を選べる慶應の工学部に進学しました。そして入学後は、自分の興味を優先し、デザインや芸術系などを含めた多様な科目を履修しました。例えば芸術系の科目では、独自の視点でものを分析する力やオリジナリティのある提案をする力を養うことができ、それらは現在の研究にも役立っていると感じます。

2年生からシステムデザイン工学科で学び、4年生から桂研究室に所属しています。桂研究室を選んだ理由の一つは、自分で研究テーマを決められることに魅力を感じ、「いろいろ種を蒔き、いろいろ挑戦するのが研究」というチャレンジ精神に溢れた桂誠一郎教授の言葉に感銘を受けたからです。

私の研究テーマはロボットハンドです。機械であるロボットには“冷たい”印象を持つ人が多い中で、私は“温かみ”を感じられるロボットを開発したいと思っています。今後、ロボットは介護で活用されたり、人間と一緒に暮らすようになったりと、社会の中で重要性を増していくはずで、そうした未来を見据え、ロボットから“温かみ”を感じられるように、人間のような器用な動作や新たな素材の活用を実現したいと考えています。

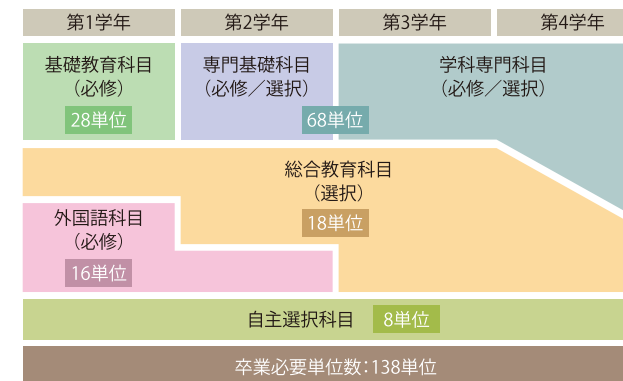
今後は大学院に進学し、ロボットハンドの研究を継続していく予定です。「誰もやっていないことをやるのが研究」というのが桂教授の教え。自分ならではの研究に全力で取り組み、多くの人により良い生活をもたらすロボットを生み出したいです。

システムデザイン工学科4年 / 桂研究室  
東京都出身

## 4年間の授業計画

学部1・2・3・4年

第1学年では、将来どの分野にでも進めるよう、基礎教育科目を用意しています。学科を選択し、各学科に配属になる第2学年では、基礎学力を充実させるための専門基礎科目を学習します。第3・4学年の学科専門科目では、新たな科学技術の開拓に積極的に挑戦してもらいたいという目的から、多彩な選択科目が用意されています。また、著名人による特別講義なども行われています。総合教育科目や自主選択科目は、4年間を通して学べるようになっています。



## 学門制

入学時

5つの大きな研究・教育分野に対応した「学門」があり、入試出願の時点でいずれかを選択します。入学後に自分の興味や関心に応じて徐々に学びたい分野を絞り、第2学年進級時に学科を選択します。学科選択や科目選択の自由度が高く、学科に分かれた後は異なる関心を持つ学生同士がともに学ぶ、刺激のかつ創造的な学習環境が実現されています。



## 充実した基礎科目

学部1・2年

基礎教育科目では数学・物理学・化学に加えて、生物・生命関係の基礎を学ぶ「生物学序論」、実験の進め方を身につける「自然科学実験」、コンピュータの利用技術を学ぶ「情報学基礎」など、将来研究を進める上で重要な科目を学びます。また、専門基礎科目は各学科の必修科目と多彩な選択科目で構成され、基礎学力を高めて本格的で高度な研究に備えます。



## 多角的な総合教育

学部1・2・3・4年

工学部では、単なる科学技術分野の専門家の養成にとどまらず、科学技術と人間社会のより良い関係を提案し実現できるような教養あるリーダーの養成を目指しています。そのような教養を涵養すべく、様々な分野の科目が総合教育科目として学部4年間にわたって設置されています。「総合教育セミナー」「グローバルリーダーシップセミナー (GLS)」「人文社会科学演習」といった科目もここに含まれます。

